

## 令和3年度 一般会計歳入歳出決算額

# 「各世代が笑顔あふ

令和3年度一般会計決算は、歳入総額114億8,360万8,000円、歳出総額104億32万7,000円、新型コロナウイルス感染症からの持ち直しの動きが見られたが依然として厳しい状況が続いており、付事業を除けば、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金により、町

## 評価

### ○新型コロナウイルス感染症関連

- ・感染症拡大防止対策事業（公共施設のトイレの洋式化、手洗等の自動水栓化）
- ・経済的支援事業として全世帯にクーポン券を配布
- ・子育て世代臨時特別給付金の給付
- ・中小企業、農業者への支援金交付

### ○結婚新生活支援事業

○子ども虐待の未然防止策として、子ども家庭総合支援拠点を整備

○早期不妊検査・治療費助成事業の実施

○高齢者福祉タクシー利用助成制度の拡充

○プロスポーツ選手による教室を開催

○魚沼地区内の水路改修工事の実施

○「カレーのまちづくり」の協力店舗の増加促進

令和4年度

### 新婚生活を応援します！

（結婚新生活支援事業）

これから夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯を対象に、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用（家賃、引越費用等）の支援を行います。



賑わうバーベキューサイト（県営まつぶし緑の丘公園）

### ○県営まつぶし緑の丘公園にバーベキューサイトの整備

○災害時の情報収集困難者対応として、災害情報発信サービスを開始

○指定避難所である各小中学校の受水槽に非常用給水栓を設置

104億32万円

認定

9月定例会

9月1日から9月26日

## れる町づくり」

差し引き10億8,328万円の残額。実質収支は、9億8,674万1,000円となった。令和3年度は個人町民税、固定資産税は減収となった。しかしながら、令和2年度実施の特別定額給付金給全体の歳入は増額となった。

## 課題

- 新型コロナウイルス感染症による影響が続き、税収が減少する中、国や県の補助制度や交付金の活用が求められる。
- 高齢者施策である交通弱者対策事業の活用が充分されていない。
- 生活道路や農道の保全が充分行われていない。
- 医療費の抑制、町民の健康維持には、特定健康診査（健康診断）の受診率向上が重要。（受診率が5市1町で下から2番目と悪く、県平均も下回る）
- 町民の健康意識向上が必要。（例：埼玉県健康マイレージの参加者が増えない）

## 【賛成討論】

## 自民クラブ

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、様々な経済的支援（子育て世帯臨時特別給付金等）と感染拡大防止（公共施設の自動水洗化等）が行われ、真摯な取り組みに感謝する。新規事業（結婚新生活支援事業）により、転入しやすい環境が図られた。松伏田島産業団地等の企業誘致に取り組み、町の税収増と雇用確保に向けた取り組みを評価する。

## 【賛成討論】

## 公明党

新型コロナウイルス感染症に対する事業が多くあり、経済的支援、感染防止に寄与したと評価する。消費生活支援センター、子ども家庭総合支援拠点、サテライト事業所を活用したひきこもり等の支援に取り組まれたことを評価する。地震洪水ハザードマップを作成し、防災情報通信システムを準備したことで、町民の防災力強化につながると評価する。

## 【反対討論】

## 日本共産党

新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世代、非課税世帯、ひとり親家庭への支給事業は、事務手続きも適正で間違いなく支給できたことは評価する。しかし、一般財源の有効活用については疑問がある。高齢者や交通弱者の外出支援事業であるタクシー券補助制度も、利用しにくいという意見があり、公共交通施策策定が遅れている。また、生活道路の改修改善、排水路の泥さらい等は、進んでいない。町の都市公園などの整備も十分ではない。これらの改善を求める。